

SOLO DUO TRIO FROM VIENNA

ウィーン・フィル首席チェリストとの 華麗なる饗宴

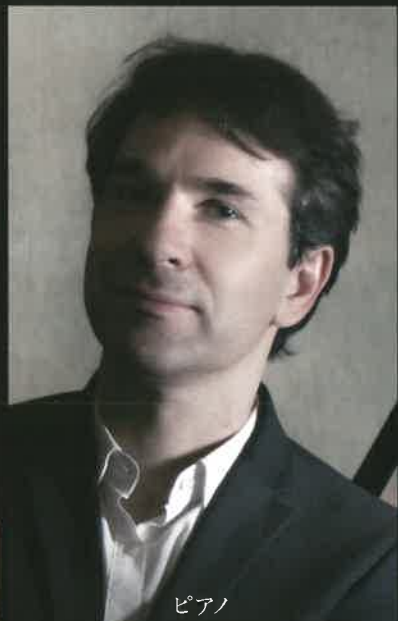
泉 里沙 with タマーシュ・ヴァルガ
& クリストファー・ヒンターフーバー



チェロ
TAMÁS VARGA
ウィーンフィル
首席チェリスト



ヴァイオリン
LISA IZUMI
ウィーンコンセルヴァトリウム
音楽大学大学院修了



ピアノ
**CHRISTOPHER
HINTERHUBER**
ウィーン国立音楽大学
ピアノ主任教授

PROGRAM

ヴァイニアフスキー：ファウストの幻想曲 Op.20 Wieniawski : Faust Fantasy Op.20
ブラームス：ピアノ トリオ 第1番 Op.8 Brahms : Piano Trio No.1 Op.8
チェルニー：バリエーション ブリランテス Op.14 Czerny : Variations Brillantes Op.14
ドビュッシー：チェロ ソナタ Debussy : Cello Sonata
メンデルスゾーン：ピアノトリオ 第1番 Op.49 Mendelssohn : Piano Trio No.1 Op.49

9.2 2019 月 MON.
19:00開演 (18:30開場)

会 場 銀座 王子ホール
入 場 料 前売 ¥5,000 当日 ¥5,500 【全席指定】
10月11日 泉里沙ヴァイオリンリサイタル ピアノ佐藤卓史
@東京文化会館とのセット券7500円 ※ロンドンTKアーツのみ取扱い
チケット販売
お問合せ 王子ホール チケットセンター TEL 03 3567-9990
ロンドンTKアーツ londontkarts @yahoo.co.jp



詳しくはこちら
<https://t.livepocket.jp/e/concert>

主催：ロンドンTKアーツ 協賛：株式会社 島村楽器
後援：東京芸術大学音楽学部同声会、一般社団法人クラシックを聴こう協会、泉里沙後援会 協力：北条街づくり振興会

SOLO DUO TRIO FROM VIENNA

ウィーンで学び、ロンドンを中心に活躍中の泉 里沙が
草津音楽祭で出会った 世界を股にかけ活躍中のウィーン・フィル首席チェリストと
アルテンベルグ・トリオのピアニストとの共演。乞うご期待!!



タマーシュ・ヴァルガ TAMÁS VARGA チェロ

1969年、ブタペスト生まれ。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席チェリストを20年以上務めており、ソリストとしてもウィーン・フィルハーモニー管弦楽団と定期的に協演。2005年、06年にC.エッシェンバッハ指揮でシューマンのチェロ協奏曲、09年にZ.メータ指揮でシュトラウスのドン・キホーテ、17年にはA.ネルソンス指揮でドヴォルジャークのチェロ協奏曲を演奏し好評を博し、18/19年のシーズンにA.ダナイロヴァ、R.ブッフビンダーとのベートーヴェンの三重奏協奏曲で、A.ネルソンスと再共演を果たす。世界中でソロ活動を行い、A.フィッシャー、小澤征爾、G.シノーポリ、P.スタインバーク、M.T.トーマス等、著名な指揮者と共演。後進の指導にも精力的で、世界各国でマスタークラスを開講。18年にはG.ドゥダメルから招待を受け、チリおよびベネズエラの国立ユース・オーケストラで首席客演奏者として参加。室内楽では、ウィーン芸術週間、ブタペスト・スプリング・フェスティバル、ラインガウ音楽祭に定期的に出演、18年ザルツブルク音楽祭ではウィーン・フィルのメンバーとモーツァルテウムで公演を行った。これまでに、F.ボーグナー、R.ブッフビンダー、F.ジャスラン、C.ヒンターフーバー、K.ライスター、B.マクファーリン、D.オッテンザマー、K.-H.シュツツ、T.ヴァーシャーリ、バルトーク弦楽四重奏団、フランツリスト室内楽管弦楽団と共演。ヴァルガの依頼で、A.J.カーニス、西村朗、G.ヴァイダ、L.ヴァイツキー、Z.ヴィソツキが無伴奏チェロのための現代作品を作曲し、18年10月、11月に世界初演。CD録音は、04年にパッハの無伴奏チェロ組曲全曲をモダン・チェロで、18年にバロック・チェロで録音。過去25年間でカメラータ・トウキョウ、ナクソス、フンガロン、キングレコード、カヴァーリレコードより30枚以上発売。



泉 里沙 LISA IZUMI ヴァイオリン

ロンドンで生まれる。最年少にてRoyal Academy of Music, Juniorにスカラーシップを得て入学。帰国後、東京芸術大学音楽部附属音楽高等学校を経て東京芸術大学を卒業。同声会賞受賞。更に同大学大学院修士課程へ入学、ウィーン・コンセルヴァトリウム大学院修士課程入学、首席にて修了。その後ソロ・ディプロマコースに進み(ジュリアン・ラクリン氏門下)修了。東京芸術大学大学院修士課程に復学して修了。

YBP国際ヴァイオリンコンクール第1位、日本学生音楽コンクール中学の部東京大会第2位、日本クラシック音楽コンクール高校の部全国大会第2位(1位なし) 摂津市主催LCコンクール金賞、併せて大阪府知事賞受賞、2012年ヴィニアウスキー vnコンクール、2013年ヤンボルスキー vnコンクールにてディプロマ賞受賞、ブラームスvnコンクールセミファイナリスト。ポルトガルアロ音楽祭最優秀賞など国内外で入賞多数。Sofia Philharmonic, Royal Academy of Music Chamber Orchestra, Finchley chamber Orchestra, Thames Philharmonia Orchestra, 日本センチュリーオーケストラ、テレマン室内オーケストラ他と共演。2015年12月初CDアルバム「マイ フェイヴァレット」リリースされる。

昨年より 草津音楽祭に招かれ 数々のウィーンフィルのメンバーとコンサートに共演。



クリストファー・ヒンターフーバー
CHRISTOPHER HINTERHÜBER ピアノ

オーストリア生まれ。R.ケーラー、L.ベルマン、H.メジモレック、V.アッシュケナーズ各氏に師事。ウィーン国立音楽大学、イモラ国際ピアノアカデミーで学び、パッハ国際、プレトリア国際、ベートーヴェン国際ピアノコンクール他、多くのコンクールで入賞。2002年から03年にかけて行われた、ヴァイオリニスト、P.コパチンスカヤとの国際シリーズでは、新星ピアニストとしてNYカーネギーホールとヨーロッパ各地の主要コンサートホールで演奏し、その後ザルツブルク音楽祭等、世界各地の音楽祭に招かれる。V.アッシュケナーズ、J.フルシヤ、S.カンツルラン等の指揮者、著名オーケストラと多数共演。また室内楽の演奏にも力を注ぎ、アルテンベルグ・トリオのメンバーとしてウィーン楽友協会、新たにウィーンで活躍する演奏者で結成したピアノ五重奏団フィルハーモニック・ファイヴのメンバーとしてもウィーン・コンツェルトハウスでコンサートシリーズを行っている。また、世界各地でマスタークラスを開講している。現在ウィーン国立音楽大学教授およびピアノ学部の学部長を務める。



草津音楽祭にて

他公演のご案内

泉 里沙 ヴァイオリンリサイタル
——— ピアノ:佐藤 卓史 ———
2019 10.11 (金) 19:00開演
(18:30開場)

会 場 東京文化会館 小ホール
入場料 一般 ¥3,500 学生 ¥2,500 【全席自由】
9/2 「ウィーン フィル首席チェリストとの華麗なる饗宴」
公演とのセット券¥7,500 (ロンドンTKアーツのみ取扱い)
主 催 ロンドンTKアーツ
090-6986-0407 londontkarts@yahoo.co.jp